

Medidata Imaging

イメージング戦略を 次のステージへ

今日の臨床試験では、イメージングは、オンコロジー、希少疾患、医療機器など、さまざまな領域において重要な役割を担っています。しかし、この重要な業務をベンダーポータル、分断されたシステム、手作業によるプロセスで管理すると、リスクの増加や評価項目の遅延につながります。

すべてのイメージングデータを単一のプラットフォームで管理することで、各プロセスにおける品質、管理性、業務効率を向上させることができます。Medidata Imagingは、オンコロジー向けのAIによる品質レビューをはじめとする自動化機能を標準搭載しており、スポンサー企業やCROは、イメージングデータへの完全なアクセス権と所有権を維持しながら、リアルタイムで状況を可視化できます。

Medidata Imagingの主な特長

単一の統合プラットフォーム

インテリジェントなテクノロジーと専門的なサービスを単一のプラットフォームに統合し、シームレスな運用環境を提供します。

医療機関の業務をシンプルに

シングルサインオンと一貫性のある直感的なインターフェースにより、医療機関の業務を効率化します。

グローバルなコンプライアンス要件への対応

世界各国の規制要件への対応を支援する機能を標準搭載しています。



あらゆるイメージングワークフローを統合

さまざまな画像タイプ、ファイル形式、ワークフローをシームレスに統合します。

リアルタイムな可視化を実現

イメージングデータとワークフロー全体をリアルタイムで可視化し、迅速な状況把握を可能にします。

イメージングデータを自社で管理・保有

データのアップロードからアーカイブまで、イメージングデータの管理権限と所有権を維持できます。

イメージングにおける課題を解決

課題

- ・ 医療機関から誤った、または不完全なファイルが提出される
- ・ PHIの匿名化に時間がかかり、ミスが発生しやすい
- ・ スポンサーが画像データの進捗状況を把握できない
- ・ 臨床試験の複雑化に既存システムが対応できない
- ・ イメージングデータがサイロ化されている、またはベンダーに管理されている

Medidata Imaging ソリューション

- ・ 編集チェック機能付きのガイド付きアップロードにより、問題をリアルタイムで検出
- ・ AIによるピクセル検出を活用したPHIの自動匿名化
- ・ 役割ごとのダッシュボードとアラートにより、リアルタイムで状況を把握・管理
- ・ 臨床試験の複雑化に応じて柔軟に拡張できる設定可能なワークフロー
- ・ スポンサーがイメージングデータへの完全な所有権とアクセス権を維持し、ベンダーロックインを回避

Medidata Imagingの主要機能一覧



10億件 以上の画像を処理

47,000 以上の施設がMedidata Imagingを利用

1,600件 以上のイメージング試験をサポート

70カ国 以上で導入

75 以上のコアラボパートナーと連携



AIが生み出すエビデンスで、患者中心の医療を加速

より迅速な試験実施、早期のリスク検出、そして安全性と予測可能性に優れた臨床試験を実現します。Medidataは、Patient Experience、Data Experience、Study Experienceを単一のプラットフォームに統合し、臨床試験ライフサイクル全体をシームレスにつなぐことで、現代の臨床試験が抱える課題の解決を支援します。数十年にわたり蓄積してきた独自データで学習したAIを活用することで、Medidataは、より迅速かつ確かな意思決定を可能にします。その革新性は、IDCやEverest Groupをはじめとする第三者機関からも高く評価されています。

